

◆ 今週のコメント (感染地域, 感染経路については推定を含みます。)

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(40歳代女性)ありました。本年の累積報告数は7例となっています。発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- A型肝炎の報告が1例(20歳代男性)あり, 症状は発熱, 頭痛, 嘔気です。感染地域は国内で, 感染経路は経口感染です。本年の累積報告数は7例となりました。
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(60歳代男性)ありました。症状は発熱, 咳嗽, 肺炎で, 感染地域は国内で, 感染経路は水系感染(田植え)です。本年の累積報告数は10例となりました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例(60歳代女性及び60歳代男性)(第26週追加報告分含む)ありました。感染地域は国内及び国外(トルコ)です。本年の累積報告数は51例となりました。

◆ 今週のトピックス: <3大夏風邪>

手足口病, ヘルパンギーナおよび咽頭結膜熱は, 3大夏風邪と呼ばれ, 毎年気温の上昇とともに流行します。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 10例(肺結核 2例, その他結核 3例, 潜在性結核感染者 5例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 182例(肺結核 75例, その他結核 44例, 潜在性結核感染者 63例)うち喀痰塗抹陽性 40例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数7例】
- 四類:A型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 7例】
- 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 10例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 51例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.28	270
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.21	95
	③ 手足口病	1.84	79
	④ ヘルパンギーナ	1.21	52
	⑤ 突発性発しん	0.42	18
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

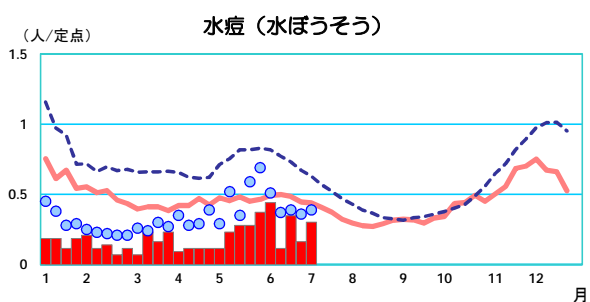
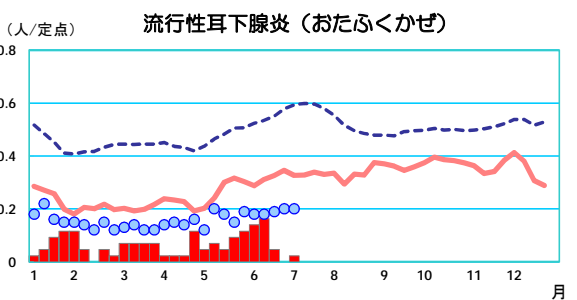
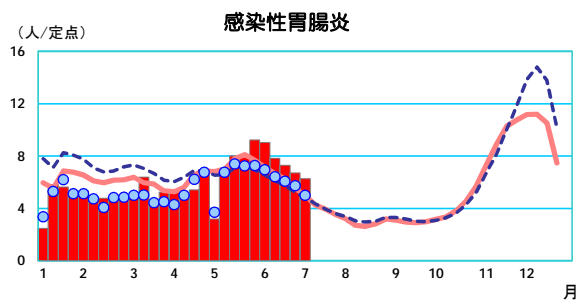
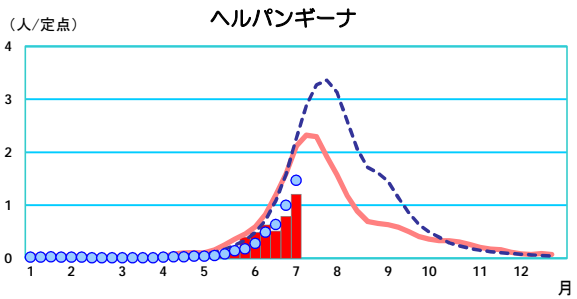
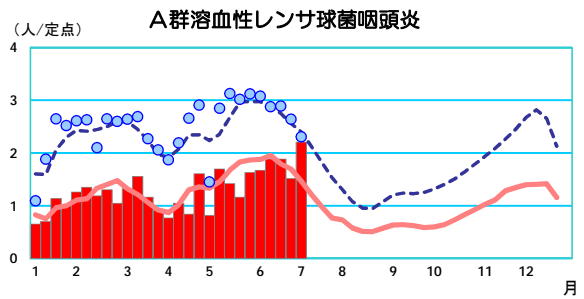
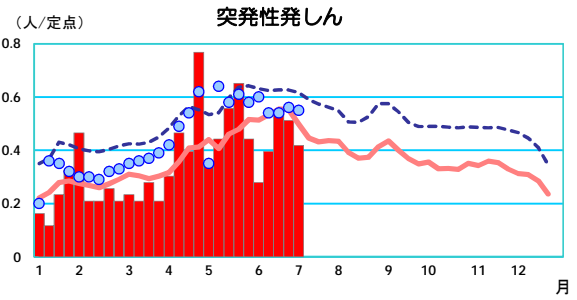
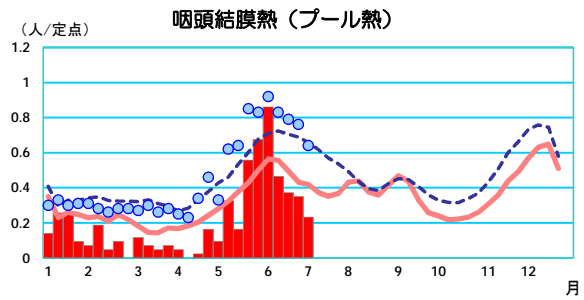
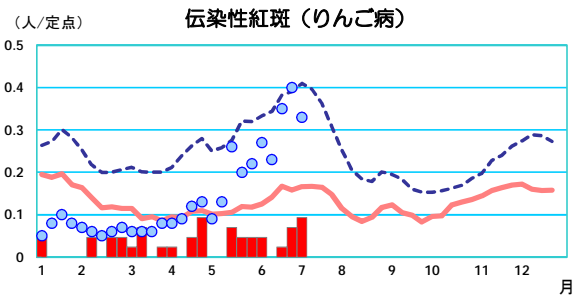
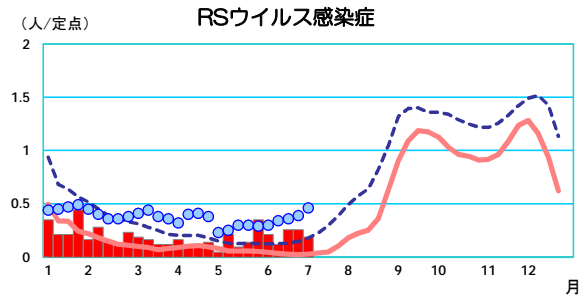
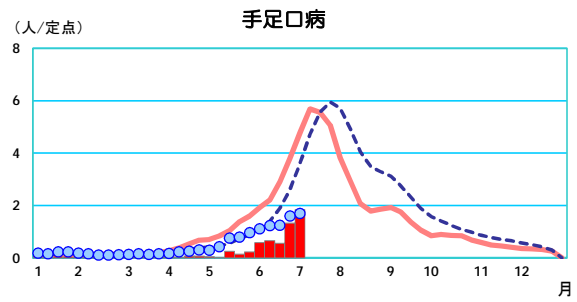
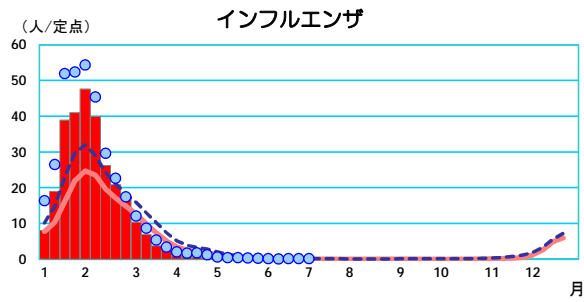
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <3大夏風邪>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは, 平成30年7月11日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第27週(7月2日～7月8日)トピックス: <3大夏風邪>

《京都市の動向》

手足口病、ヘルパンギーナおよび咽頭結膜熱(以下プール熱)は、3大夏風邪と呼ばれ、毎年気温の上昇とともに流行します。京都市における定点あたり報告数の過去5年間平均値の推移と京都市の最高気温の週別平均値を重ねてみると、25℃を超える週に各疾患の流行期が見られます(図)。本年は、近畿地方が7月9日に梅雨明けして以降、最高気温が30℃を超える日が続いており一層の注意が必要です。

第27週の定点あたり報告数は、手足口病で1.33から1.84、ヘルパンギーナで0.79から1.21に増加しましたが、プール熱は0.35から0.23に減少しました。

3大夏風邪の年齢階級別報告数割合(2018年第27週まで)を比較すると、何れも1歳以下で5割近く、また5歳以下で9割近くを占めており、この年齢層の子どもたちには特に注意が必要です(図中円グラフ)。

《感染症法における取扱い》

3大夏風邪は、共に5類感染症定点把握疾患に定められており、全国約3000ヶ所の小児科定点医療機関から毎週報告がなされています。

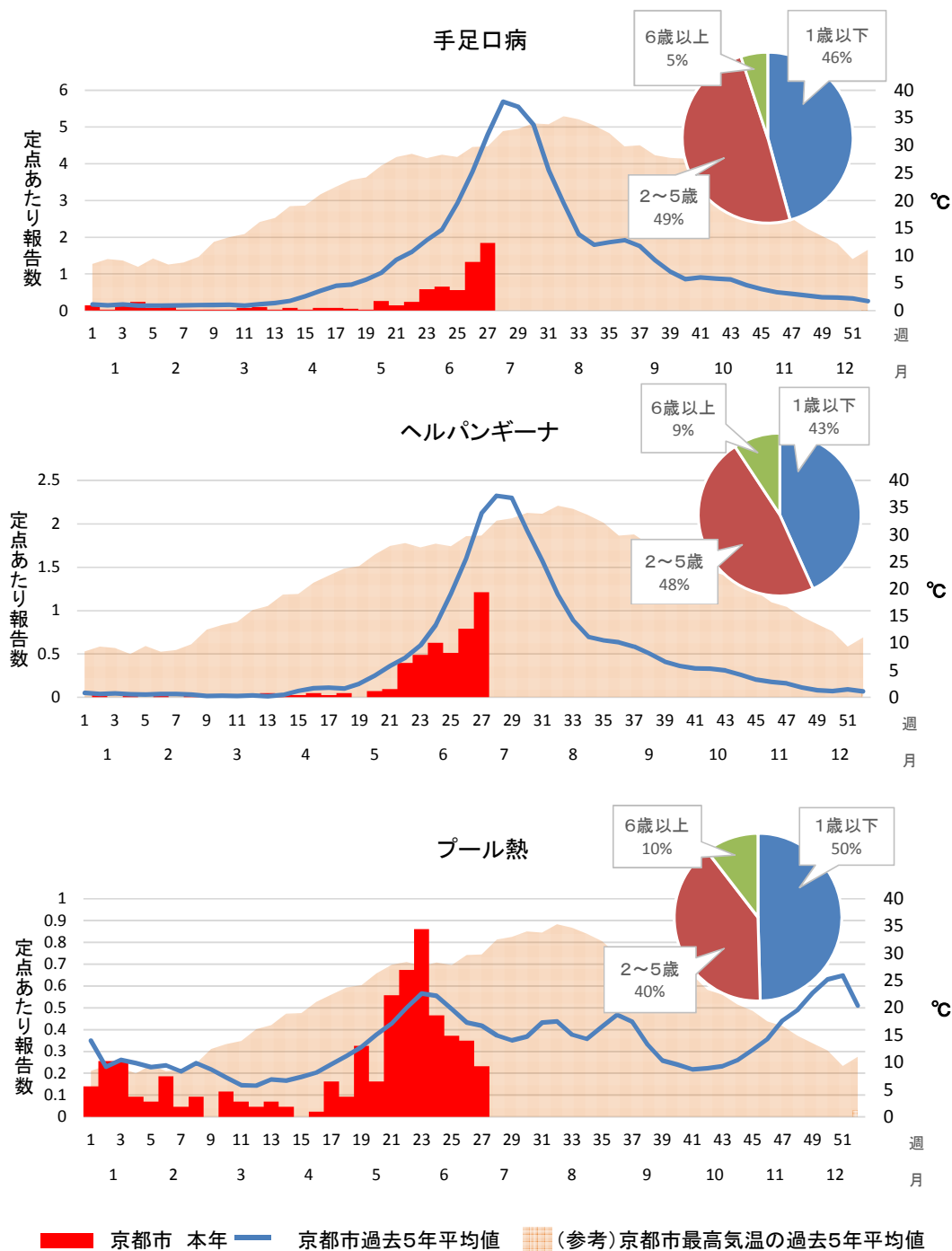
《学校保健安全法における取扱い》

プール熱は第2種伝染病で、主要症状消退後2日を経過するまで出席停止の措置が必要とされています。一方、手足口病とヘルパンギーナは、出席停止措置を考慮すべき伝染病に含まれていません。理由は、両疾患とも回復後も長期にわたりウイルスを排泄することから、急性期のみ登校・登園停止を行っても流行阻止の効果が期待できないためです。出席するかどうかは、患者本人の症状や状態によって判断すべきと考えられています。

《予防》

有効な予防策は、患者との濃厚接触を避けるほか手洗い励行が重要です。保育施設等では感染を広げないために、タオルの共用を避けましょう。また、夏休みをむかえ、子どもが家で過ごす時間が長くなります。家庭での衛生習慣についても家族で再確認しましょう。

図 京都市の夏型感染症の定点あたり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第27週

疾病,行政区別報告数

平成30年7月2日～平成30年7月8日

データ入手日:平成30年7月11日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計	-	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	2	4	1	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	12	79	1	15	-	3	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	2	11	-	7	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	3	-	2	17	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	3	1	24	4	-	1	4	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	17	2	3	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	6	28	37	1	30	-	3	11	-	-	1	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	14	65	5	11	-	4	21	1	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	1	10	36	2	7	-	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	8	10	95	270	13	79	4	18	52	1	-	2	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計	-	0.50	0.50	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	0.50	0.50	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	0.67	1.33	0.33	1.67	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	3.00	19.75	0.25	3.75	-	0.75	1.00	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	0.67	3.67	-	2.33	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	1.50	-	1.00	8.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	0.60	0.20	4.80	0.80	-	0.20	0.80	0.80	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	-	5.67	0.67	1.00	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	1.20	5.60	7.40	0.20	6.00	-	0.60	2.20	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	2.00	9.29	0.71	1.57	-	0.57	3.00	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	0.20	2.00	7.20	0.40	1.40	-	0.40	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	0.19	0.23	2.21	6.28	0.30	1.84	0.09	0.42	1.21	0.02	-	0.20	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第27週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年7月2日～平成30年7月8日

データ入手日:平成30年7月11日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	8	1	1	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		10	-	-	4	2	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		95	-	-	4	5	12	11	16	12	12	5	6	6	1	5	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		270	1	22	41	29	27	26	22	19	12	9	8	27	9	18	-	-	-	-	-	-
水痘		13	-	-	-	-	1	-	3	3	2	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		79	-	6	27	22	9	8	2	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		4	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		18	-	4	11	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		52	-	4	22	11	4	5	2	-	1	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.19	0.02	0.02	0.09	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.23	-	-	0.09	0.05	0.05	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.21	-	-	0.09	0.12	0.28	0.26	0.37	0.28	0.28	0.12	0.14	0.14	0.02	0.12	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		6.28	0.02	0.51	0.95	0.67	0.63	0.60	0.51	0.44	0.28	0.21	0.19	0.63	0.21	0.42	-	-	-	-	-	-
水痘		0.30	-	-	-	-	0.02	-	0.07	0.07	0.05	-	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1.84	-	0.14	0.63	0.51	0.21	0.19	0.05	0.07	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.09	-	-	-	-	-	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.42	-	0.09	0.26	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1.21	-	0.09	0.51	0.26	0.09	0.12	0.05	-	0.02	-	-	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	0.10	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第27週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年7月11日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	2	5	-	-	2	-
RSウイルス感染症	15	9	5	11	11	8
咽頭結膜熱	29	37	20	16	15	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	70	72	81	81	65	95
感染性胃腸炎	397	388	337	314	288	270
水痘	16	19	5	15	7	13
手足口病	10	25	28	24	57	79
伝染性紅斑	2	2	-	1	3	4
突発性発しん	19	12	17	23	22	18
ヘルパンギーナ	17	21	27	22	34	52
流行性耳下腺炎	5	6	7	2	-	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	2	6	4	6	2
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	584	598	533	513	510	552

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.03	0.07	-	-	0.03	-
RSウイルス感染症	0.35	0.21	0.12	0.26	0.26	0.19
咽頭結膜熱	0.67	0.86	0.47	0.37	0.35	0.23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.63	1.67	1.88	1.88	1.51	2.21
感染性胃腸炎	9.23	9.02	7.84	7.30	6.70	6.28
水痘	0.37	0.44	0.12	0.35	0.16	0.30
手足口病	0.23	0.58	0.65	0.56	1.33	1.84
伝染性紅斑	0.05	0.05	-	0.02	0.07	0.09
突発性発しん	0.44	0.28	0.40	0.53	0.51	0.42
ヘルパンギーナ	0.40	0.49	0.63	0.51	0.79	1.21
流行性耳下腺炎	0.12	0.14	0.16	0.05	-	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.20	0.60	0.40	0.60	0.20
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	13.72	14.02	12.86	12.24	12.30	12.99

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。